

小児看護学実習

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 高橋 亮 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	3	区分・時間数	実習 75 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

・学習方針（講義概要等）

健康障害をもつ子どもとその家族に応じた看護実践に必要な知識や技術を学ぶ。小児病棟での実習を通して、健康障害や入院が小児とその家族に及ぼす影響について理解し、健康障害をもつ小児とその家族のアセスメント（分析・解釈）を行い、立案した看護計画に基づき看護を実践、評価する。なお、小児病棟実習では1名の小児患者を受け持ち、看護過程を展開することを通して、小児看護の役割についても考察する。

・教育成果（アウトカム）

1. 小児看護に必要な知識・技術・態度について既習内容を活用し実践する。
2. 小児とその家族への看護を通して小児看護の役割を考察する。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 6, 7

・到達目標（SBO）

1. 小児の成長・発達過程を理解することができる。
2. 小児の成長・発達過程における支援方法について理解することができる。
3. 健康問題をもつ小児とその家族への看護援助方法を理解することができる。

・授業日程

【実習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
各グループの実習期間は、実習要項等に記載する。			成育看護学講座	高橋 亮 教授 最上 玲子 講師 伊藤 由香 助教	<p>1. 授業内容</p> <p>計2週間の実習期間中、小児病棟またはNICU/GCUにおいて小児患者を受け持ち、看護過程を展開する。行った看護について要約を作成し、実習最終日に発表・討議を行い、看護実践の振り返りと学びの共有をする。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>小児病棟に入院している小児とその家族への看護を通して、小児看護の特徴について理解し、小児病棟の看護師の役割を説明できる。</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキスト NiCE 小児看護学概論 改訂第3版 ～子どもと家族に寄り添う援助～	二宮啓子 今野美紀	南江堂	2017
教	写真でわかる小児看護技術	山元恵子	インターメディカ	2017

・成績評価方法

小児看護学実習評価表に示した評価基準に基づき、成長発達理解、看護過程の展開、実習の取り組み、学びの統合の4項目について、学生の行動や実習記録の記載等から総合的に評価する（詳細は実習要項に記載）。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

事前学修については、これまでの既習内容を復習し、実習で実施する援助については、その都度手順や注意点をまとめておくこととし、毎日最低30分以上を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

・毎日提出される記録には当日中にコメントを付して返却する

・ 毎日行われるカンファレンスにて助言ならびにコメントを伝える

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：臨地実習 専門分野Ⅱ 小児看護学

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習要項に記載する。			